

平成 29 年 1 月 5 日



上場会社名 株式会社 ケーヨー  
代表者名 代表取締役社長 醍醐 茂夫  
(コード番号 8168 東証 1 部)  
問い合わせ先 常務取締役社長室長 実川 浩司  
TEL 043-255-1111

## 中期経営計画の見直しに関するお知らせ

当社は、平成 28 年 4 月 5 日に公表いたしました「中期経営計画の策定に関するお知らせ」について、中期目標の見直しを決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 見直しの理由

平成 28 年 4 月 5 日に 2020 年を最終年度とする中期経営計画を策定し、公表いたしましたが、本日公表の「DCMホールディングス株式会社との資本業務提携、第三者割当による新株式発行及び自己株式の処分並びに主要株主、主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」に伴う経営環境の変化を踏まえ、中期目標を見直すことといたしました。

当初計画では、新規出店や業態転換を中心に数値達成を図る計画でしたが、「DCMホールディングス株式会社との資本業務提携、第三者割当による新株式発行及び自己株式の処分並びに主要株主、主要株主である筆頭株主及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」にあるとおり、大型店を中心とした改装に注力し、荒利益を中心に改善を図りながら、立地特性にあった業態転換と合わせて利益計画を達成してまいります。

#### 2. 中期目標

【修正前】			【修正後】	
	2020 年度		2020 年度	
売上高	1,800 億円	➡	1,550 億円	
営業利益率	3.0%		4.5%	

※参考：中期経営計画の概要（別紙）

以上

株式会社 ケーヨー

# 中期経営計画の概要

(2017年－2020年)

2017年1月5日

(東証1部：証券コード 8168)

## 1.基本方針

### 選ばれる店づくり

～お客様のニーズを掴む～

従来の「暮らし総合店」という画一的な品揃えから脱却し、ホームセンターとしての専門性も追求しながら、ケーヨーデイツーとしての強みづくりをしていく。

また、お客様のニーズに合わせた便利な買物と安さを提供し、品揃え枠の拡大によるお客様の生活スタイルに合った商品やサービスを立地特性に合わせて提供し続ける事で企業価値の向上を図る。これらのことをDCMホールディングスとのシナジー効果により、スピーディに実現させる。

### ① 荒利益の重視

- ✓「DIY・園芸・ペット・家庭用品」を核としたホームセンターとしての部門構成を確立する。
- ✓ お客様の生活スタイルに合った品揃えを構築する。
- ✓ DCMホールディングスへのグループインに伴うシナジー効果を発揮する。

### ② 立地特性に合わせたパターンの構築

- ✓ 立地・規模別に分類し、立地特性に合った品揃え・サービスを導入することで、お客様から選ばれる店づくりを行う。
- ✓ 新業態を開発して今後の出店の武器を増やす。

### ③ コスト構造の改革

- ✓ 販促分配率を適正にする。
  - ✓ オペレーションコストを中心に改善する。
- 

### ④ 不採算（店・部門）の利益改善

- ✓ 商品部門別荒利益を重視し、売場面積と扱い品種を店別に適正化する。
  - ✓ 不採算店をグループ分けし、パターン別（集客・荒利益・コスト）の対策を行う。
-

### ⑤ サービスの充実



- ✓オンラインストアや取付サービス等の拡大を図る。
- ✓画一的ではなく、立地・規模毎に必要なサービスの組合せを行う。

2020年度  
売上高 1,550億円、営業利益率 4.5%

